

京畿道金浦市の豚農場で口蹄疫抗原検出

出典URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE88JTJGYmJzJTJGbwWFmcmEIMkY20CUyRjMxNzIyNCUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJT12cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZiYnNpcGVuV3JkU2VxJTNEJT12cGFzc3dvcmQIM0QIMjZzcmNoQ29sdW1uJTNEJT12cGFnZSUzRDEIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnJvdyUzRDEwJT12aXNwaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJT12c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（仮訳）

- 農林畜産食品部（以下、「農食品部」）は、4月2日（月）、金浦口蹄疫発生疫学関連農場の精密検査（京畿道動物衛生試験所）において口蹄疫の抗原が検出されたと発表した。
  - ※ 金浦所在の最初の発生農場とは12.7kmの距離に位置
  - 当該農場（京畿道金浦市霞城面（ハソンミョン）、3,200頭飼育）は、疫学農場に対する移動制限、消毒措置、毎日の予察中であり、3月28日、口蹄疫の感染抗体（NSP）が検出されて実施した精密検査で4月2日、抗原が確認された。
    - ※ 感染抗体（NSP）：自然感染で形成されている抗体
- 農食品部は、口蹄疫抗原が検出されたことにより、迅速に初動の防疫チームを農場に投入し、該当農場と農場主所有の第2農場（金浦市月串面所在）について、4月2日、緊急に予防的殺処分を実施する予定である。
- また、農食品部の関係者は、今回、口蹄疫抗原が検出された農場の家畜において口蹄疫の臨床症状はないが、一般的に口蹄疫の臨床症状はウイルス感染量に応じて異なって現れることがあると説明した。
  - 現在、検出抗原の口蹄疫の血清型を確認するため、農林畜産検疫本部で精密検査を行っている。